

NPOって何だろう？



2020.4.16

■あなたの身近なところにもNPOが！

まちの美化活動としてゴミ拾いや花壇を作る。里山を守り育て、その活用を図る。昔からの街並みを保存する。地域の高齢者のために食事をつくって届ける。子どもの虐待を防ぐ。不登校の子どものケア・ホームレス支援・野生動物の保護・地雷の除去・etc…。

このように市民が自発的に問題解決に向け行動することを一般に「市民活動」や「ボランティア活動」と言います。

そして、このような活動をしている団体（組織）のことを「NPO」と呼びのびます。NPOは自らの手で自分たちの住む社会をもっと良くしていきたい！という気持ちをもった市民の集まりです。

ひとくちにNPOといってもみんなが同じ内容の活動をしているわけではありません。一つ一つの団体がそれぞれ自分たちの思いや目的に基づいて活動しており、その内容はさまざまです。

関心を持って周りを見渡せば、あなたの街にもきっとたくさんの人たちがNPOとして活躍しているのが見えてくることでしょう。

あっ！もしかしたら、あそこの人たちもNPOなのかな？

でもNPOって英語？どういう意味だろ？？

■ NPO言葉の意味は？

NPOは、Non-Profit Organization という言葉の頭文字をとったもので、直訳すると「非営利組織」となります。また、行政機関でないことを明確にするために「民間非営利組織」と訳されることもあります。

でも、非営利って何？営利を目的としない組織って？収益をあげないって事?!でも、どんな事をするのもお金は必要ですよ。どんな形態の団体であっても。

商店街に書かれた落書きを消すにも洗剤代が、里山を守るために植樹をするにも苗や種が必要になりますね。他にも子どもの虐待を防ぐ為にチラシを作って広報をしたり、事務所を持っている団体なら事務所を維持する費用も必要ですね。

NPOも活動にはお金が必要なので、会費やチ

ャリティー、イベントの参加費などで資金を作り運営費をまかっています。

■非営利ってどんな意味？

「非営利」とは、お金を扱わないという意味ではなく、会社のように、利益がでたら、その会社の所有者つまり経営者や株主の間で分配する、ということをしませんという約束をした組織のことです。それが非営利という言葉の意味です。

では、余剰金（利益）が出た場合には、どうするのでしょうか。そのお金は全て団体が目的としている社会問題の解決のために使われます。NPOは、活動の目的などに賛同した方々が支援者となり会費や寄付、ボランティアなどの支援をいただきながら活動しています。その支援に対して活動の報告や成果、実績を伝える事などで還元しています。

「営利（利潤の分配）を目的とせず、社会的な問題の解決を目的とする組織」それがNPOです。

■なぜ今、NPOなの？

市民活動やNPOは今、注目されてきています。それはなぜでしょう？

現在の社会では、行政と企業だけでは社会問題等への対応が、まかないきれなくなってきました。行政が平等にサービスを行おうとすると、広く多くの人々の理解が必要となってきますし、企業が利益の上がる見込みのないサービスを提供することは考えにくいものです。NPOとは、こうした行政や企業では扱いにくいニーズに対応する活動を自発的に行う組織（団体）なのです。

又、NPOがサービスを提供するには、そこに解決すべき課題やニーズがあるからで、解決する方法としては、サービスで解決する方法もあれば、「問題があるよ！」ということをお社会に投げかけて社会のしくみを変えて解決する方法があります。

このように、新しい価値を産み出し、社会に提案していくのもNPOの仕事です。

複雑化している現代社会だからこそ、NPOは期待され注目されているのです。



■ NPOとNGOは どう違うの？

NPOとはNon-Profit Organization（非営利組織）の略です。一方NGOとはNon-Government Organization（非政府組織）の略です。NPOは主に国内で活動する団体などが「私たちは利益をあげるために活動している団体ではありません」ということを表すときに使うようです。一方でNGOは一般的に、国際社会で活動する団体が「私たちは政府組織ではありません」ということを表すために使うことが多いようです。

どちらも“株式会社”のように条件が整わなければいけないというのではなく、あくまで自称なので、同じような活動をしている団体でもNPOだったりNGOだったりすることもあります。

■ NPOとボランティアは どう違うの？

どちらも自主的、自発的に問題解決に向けた行動を行うという点では同じですが、NPOは非営利組織というように「組織（団体）」を指し、ボランティアは「個人」を指す言葉です。

NPOは目的を達成するために運営のルールを持ち、組織的、継続的に活動を行うとともに、提供するサービスに見合う対価を徴収することもできるものであるのに対し、ボランティアは個人が個人の責任の範囲でできる活動が無報酬で行うというイメージです。

また、NPOはボランティア活動をしたいという人に参加の場をつくり、受け皿となる「参加を求める側」ですが、一方でボランティアはNPOの活動に「参加する側」であり、NPOを支える重要な存在であるとも言えます。

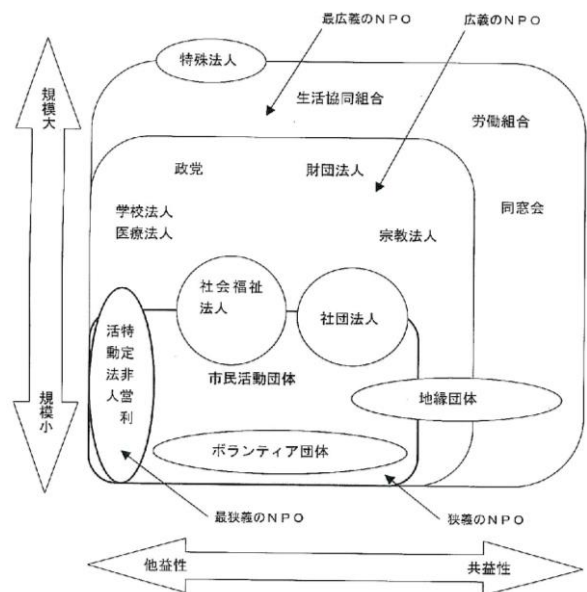
■ NPOとNPO法人は どう違うの？

NPOの多くは法人格を持たない任意団体として活動していましたが、団体として、「銀行口座が開設できない」「不動産登記ができない」などの不都合がありました。

このような不都合を解消するために、平成10年に特定非営利活動促進法（通称「NPO法」）が制定され、一定の要件を満たし、所轄庁の認証を得た団体が特定非営利活動法人（通称「NPO法人」）となることができることになりました。

NPOとは広く非営利活動を行う団体を指す言葉です。そして、NPOのうち、NPO法に基づいて設立された法人をNPO法人と呼びます。

■ NPOに関する4つのイメージ



「月刊ボランティア」（JAN/FEB2000）より作図
大阪ボランティア協会発行

参考図書

「一夜でわかる！「NPO」のつくり方」加藤哲夫著 発行：主婦の友社
「NPOその本質と可能性」加藤哲夫著

